

名称等 沼津市地震・津波対策アクションプランの見直しを実施しました

担当 危機管理課

直通 055-934-4803 内線 2556

1 内容

沼津市地震・津波対策アクションプラン策定から3年が経過したことから、アクションの進捗状況や熊本地震など東日本大震災以降に発生した新たな災害における課題を検証し、見直しを実施しました。

2 特徴

①3年経過時点の進捗状況の確認

各アクションの進捗状況を確認し、見直しに対する基本的な方針を整理

○進捗確認(H28年12月時点)

	短期	中期	長期	計
計画どおり	20	14	48	82
遅れている	2	5	5	12
計	22	19	53	94

H27年度までの緊急・短期で進めてきた22のアクションのうち、計画どおりに達成したのも一部修正又は継続していくこととし、遅れているアクションについては対策を検討。

○対応方針

- ・年々風化する減災意識の改善や、地域特性を踏まえたきめ細かな対策が必要であることから、これらに関連したアクションを取り込む。
- ・熊本地震の教訓や、地域防災力強化のために必要なアクションを追加
- ・類似アクションや追加する新規アクションとの整合を図るため、統廃合を行う。

②熊本地震など新たな災害における課題の検証

アクションの進捗状況を踏まえるとともに、熊本地震や地域防災力強化のための課題抽出と検証

○熊本地震等で浮き彫りになった課題

- ・支援物資の受入、仕分け、配送のノウハウ等がなく被災者に迅速に物資が届かなかった。
- ・家屋調査の体制が不十分、また迅速な証明書の発行ができず、住民の生活再建が遅れた。
- ・避難所における女性等への配慮不足、避難所外避難者が増加した。

○地域防災力のさらなる強化の必要性

- ・災害の危険度や地域特性が十分理解されておらず市民の不安が増大している。
- ・災害時の適切な避難行動が分からず、避難の遅れによる被害拡大の恐れがある。

○その他の課題

- ・災害から命を守るための自助・共助の対策の遅れ(家屋耐震化、家具固定等のさらなる推進)
- ・災害時の自衛隊等の関係機関等との連携

③課題の検証を踏まえたアクションプランへの反映

新たな課題等を踏まえ、新たに14のアクションを追加、19のアクションについて目標指標等の修正、1アクションを廃止し、94アクションから、短期24、中期18、長期58の合計100アクションとする。

○新設 14アクション

(No.2)避難行動計画づくりの推進、(No.6)災害リスクマップの作成、(No.41)自衛隊との連携強化、(No.73)実践的な避難所運営訓練の実施、(No.79)国からの支援物資等の受入体制整備 等

○修正 19アクション

(No.4)津波避難路のブロック塀等の撤去・改善、(No.9)住宅の耐震化の促進、(No.21)地域による防災訓練の充実・強化、(No.30)市の緊急物資備蓄品整備 等

○廃止 1アクション (旧 No.8) 避難可能時間の短い地区における避難場所の充実